

ユナイテッドアローズ(7606)



－ 通期計画達成に向け課題の多い出だし －

ユナイテッドアローズが5日に発表した第1四半期(4-6月期)の決算は、売上高が前年同期比2.7%増収、営業利益が同24.7%減益と増収減益となりました。売上高は在庫投入量を増やしたことで販売機会ロス低減によるネット通販の大幅な伸びにより増収を確保したものの、賃借料や人件費、宣伝広告費などのアップによる販管費の増加で大幅減益となっています。

第1四半期の粗利益率は54.5%と前年同期比で0.1ポイントアップしましたが、通期計画の0.9ポイント改善に対しては大きく出遅れています。期初から原価管理に取り組むものの、春夏では対応が間に合わなかったとユナイテッドアローズでは説明していますが、秋冬で原価管理の強化が徹底できるかが通期計画達成に向けてポイントとなりそうです。

第1四半期の既存店売上高(小売り+ネット通販)はネット通販の大幅な伸びにより0.8%増とプラスを確保したものの、通期計画の5.4%増を大きく下回ってのスタートとなりました。ただ、4-5月の微減から6月が3.1%増、曜日要因で3.9%押し上げ効果があったとはいえ7月が9.0%増と回復傾向にあります。通期計画の達成に向けて販売の回復基調が持続できるかもポイントとなりそうです。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会